

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

旅行ビジネス論では、観光経営に関する基本的事項を、行政や民間企業等での実務経験に基づき、わかりやすく講義します。旅行ビジネス論を通して、観光経営に関するノウハウ、旅行に関するIT等のエンジニアとしてスキル、着地型旅行商品等のサービス開発能力、ビジネスの場における交渉力、多くの方の共感を得られるプレゼンテーション力等を、少しずつ学生の間身に身につけて欲しいと考えています。本授業では観光経営について、「観光ビジネス未来白書」のデータも活用しながら最新の市場動向についても目を向けていただき、マーケティングの重要性についても講義します。

授業計画

第 1 回	授業ガイダンス：授業計画と成績評価の方法及び旅行ビジネス論の概略
第 2 回	観光経営の基礎
第 3 回	観光政策・行政：基本法、関連法令、推進体制等
第 4 回	観光まちづくり
第 5 回	観光行動と観光市場
第 6 回	ICT 革命と観光産業
第 7 回	交通産業経営：鉄道事業、航空事業
第 8 回	旅行産業経営：旅行業の近未来
第 9 回	宿泊産業経営
第 10 回	外食産業経営
第 11 回	博物館と美術館
第 12 回	ホテルアセットマネジメント
第 13 回	集客戦略：集客の捉え方・考え方等
第 14 回	観光産業の人的資源管理
第 15 回	ポストモダンと観光
第 16 回	定期試験

到達目標

- ①旅行ビジネスの基本的キーワード、観光経営学の大まかな体系を理解できる。
- ②旅行ビジネスの現在の市場動向や今後の展望など、最新のビジネス環境が理解できる。
- ③実務家が、産業界や行政で実際に体験した取り組みを紹介することで、理論だけでなく、実務との関連がしっかり理解できるようになる。

履修上の注意

授業内容は変更になることがあります。

予習・復習

予習：次回の授業のトピックに関する情報をインターネットなどで調べると授業が理解しやすくなります。また、日々の観光業界の動きをチェックしておいて下さい。
 復習：授業で説明したテキストの箇所を必ず見直してください。

評価方法

筆記試験(90 点)+受講態度(10 点)

テキスト

- ・教科書名：よくわかる観光学1 観光経営学 第1版
- ・著者名：岡本伸之
- ・出版社名：同友館
- ・出版年 (ISBN)：2013年 (ISBN978-4-496-05411-2)